

市民参画交流課

○ 情報紙発行事業

男女共同参画に関して広く市民に情報発信するため、公募市民5人の企画編集による情報紙「れいんぼう」を2回発行した。

- (1) 編集会議 4月～3月まで25回の編集会議と3か所の取材活動
- (2) 内 容 A4・2色・4ページ

号	発行	配布方法	発行部数	テーマ
第20号	19年9月	各戸配布	51,800部	男女共同参画は市民が育てるⅠ
第21号	20年3月	各戸配布	51,900部	男女共同参画は市民が育てるⅡ

○ 男女共同参画推進都市事業

1 男女共同参画推進事業委託

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、男女共同参画社会の実現をめざした取組を行った。なお、企画運営については、公募市民10人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」と協働で行った。

(1) パートナーの日の啓発事業

男女がお互いを思いやる「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知するため、啓発事業を行った。

① 啓発品配布

	開催日	開催場所	内 容
第1回	19. 7. 26	御菌町 ショッピングセンター前	啓発用ティッシュの配布
第2回	19. 8. 1	外宮 ゆかたまつり会場	

② 講演会

開催日	開催場所	内 容	参加人数
19. 8. 25	ハートプラザみその 多目的ホール	村尾信尚講演会&トークライブ	300人

(2) 市民ワークショップの開催

各地域に出向き、市民ワークショップを開催し、家庭・職場・学校・地域の中で男女が性別にとらわれず自分らしく生きる方策について話し合った。

	開催日	開催場所	参加人数
第1回	19.11.21	一色町公民館	24人
第2回	19.11.28	徳川山公民館	22人
第3回	19.12.6	二見町光の街コミュニティセンター	20人

(3) 男の料理教室

家庭生活における男女共同参画を目指して、簡単にできる男性の料理教室を開催し、家庭生活に対する男性の参画を促した。

	開催日	開催場所	講師	参加人数
第1回	19.6.30	ハートプラザみその栄養指導室	男女共同参画 れいんぼう伊勢	20人
第2回	19.12.2	ハートプラザみその栄養指導室	ピム ワメリンク (オランダ人)	12人

(4) 生活講座・講演会の開催

男女共同参画の視点から、男女が自立するために生活の知恵を紹介した講座や男性も気楽に子育てと家事ができる講演会を開催した。

開催日	開催場所	テーマ	講師	参加人数
19.10.6	伊勢市役所 本庁舎4-5会議室	明日から役立つ 生活講座	いりえ あつこ 江 京子	27人
20.3.22	ハートプラザみその 保健会議室・教養娯楽室	山田亮講演会 &人形劇・工作	山田 亮	53人

(5) 企業アンケートの実施

男女共同参画社会の実現に向けた、企業の実態を図るため、市内52社に対してアンケートを行った。

調査数	回収数	回収率
52社	24社	46.2%

2 男女共同参画審議会の開催

市長の諮問に応じ、男女共同参画基本計画策定にかかる審議を行った。男女共同参画の推進に関する基本的な方針、基本的な政策及び重要課題を調査審議した。

	開催日	開催場所	内 容
第1回	19. 6. 25	市役所東庁舎 4-2 会議室	会長選任、各課の取組状況の説明
諮問	19. 7. 24	市長応接室	伊勢市男女共同参画基本計画の諮問
第2回	19.12. 7	市役所東庁舎 4-2 会議室	伊勢市男女共同参画基本計画の審議
第3回	19.12.21	市役所東庁舎 4-2 会議室	伊勢市男女共同参画基本計画の審議
答申	20. 1. 11	市長応接室	伊勢市男女共同参画基本計画の答申

3 伊勢市男女共同参画基本計画の策定

男女平等などの理念を基本とし、一人ひとりの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、それぞれの個性と能力が十分発揮できる男女共同参画社会の実現をめざして、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に進めていく指針として「れいんぼうプラン（伊勢市男女共同参画基本計画）」（平成 20 年度～平成 24 年度の 5 カ年計画）を作成した。

4 人材育成講座の開催

社会のあらゆる場で、男女が個々の能力を発揮できる力を身につけ、男女共同参画のリーダー核となる人材を育成するため、れいんぼう講座（4 回開催）を開催した。

	開催日	テーマ	講師	場 所	参加人数
第1回	20. 1. 13	表現力に強くなる講座Ⅰ	(有)幸プラン ニング 長野 ゆき子	市役所東庁舎 4-3 研修室	12
第2回	20. 1. 27	表現力に強くなる講座Ⅱ	(有)幸プラン ニング 長野 ゆき子	市役所東庁舎 4-3 研修室	15
第3回	20. 2. 3	表現力に強くなる講座Ⅲ	(有)幸プラン ニング 長野 ゆき子	市役所東庁舎 4-3 研修室	14
第4回	20. 2. 11	男女共同参画について	三重大学 人文学部 准教授 石阪 督規	市役所東庁舎 4-3 研修室	11

5 企業セミナーの開催

男女共同参画推進条例の施行に伴い、事業者への理解を深めるため事業主を対象に企業セミナーを開催した。

開催日	開催場所	内 容	講 師	参加人数
20. 2. 20	伊勢商工会議所 4階中ホール	企業産業ともに次世代育成を地域で進めるために	三重県産業支援センター 渡邊憲一	24

○ 市民活動促進事業

いせ市民活動センター

(1) 指定管理者制度

平成 16 年 4 月、産業部観光課から施設の移管を受け、公設公営でセンターを稼動し、平成 16 年 7 月より、指定管理者制度を導入して公設民営により本格稼動している。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
< 第 1 期 > 自 平成 16 年 7 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 1 日	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
< 第 2 期 > 自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日	48,202,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット

(2) 事業の内容

① センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ (<http://skc@e-ise.net>)、情報誌(「パルティ」年4回発行)等を活用し市民活動に関する情報の収集及び提供等
- ・交流事業などを通し、さまざまな団体と結びつき、広く市民活動への理解を深める。

日 時	内 容
H19. 8. 6	チャリティ夢トーク「心、宇宙のままに」 開催 テーマ“オレンジの羽根募金”(チャイルドライン 24 支援)
H19. 12. 15	チャリティコンサート 音楽創作広場 開催 テーマ“オレンジの羽根募金”(チャイルドライン 24 支援)
H20. 3. 1	いせ&まつさか&伊賀 eparts リユース PC 寄贈プログラム
H20. 3. 24	チャリティコンサート 音楽創作広場 開催 テーマ“オレンジの羽根募金”(チャイルドライン 24 支援)

- ・ワーキングスペースに印刷機、コピー機、レンタルPC(但し、センター内利用)を設置。また、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し市民活動を支援。同時に、市民活動支援パソコン講習会等も開催。

② センター管理業務

施設利用の登録、使用許可及び施設・設備及び機器の維持管理

(施設稼働状況)

	北 館				南 館		
	平均稼働率				利用者数	平均稼働率	利用者数
	多目的ホール	A会議室	B会議室	1 Fホール			
H18. 4. 1 ～ H19. 3. 31	% 37.1	% 38.6	% 43.2	% 24.9	人 49,681	% 25.2	人 16,493
H19. 4. 1 ～ H20. 3. 31	% 37.4	% 33.3	% 35.5	% 19.8	人 47,898	% 27.5	人 16,808

※平均稼働率・・・稼働実績時間数／稼働可能時間(11時間)×稼働可能日数

(登録団体数)

	登録団体数
平成 16 年 7 月 1 日	59 団体
平成 18 年 3 月 31 日	82 団体
平成 19 年 3 月 31 日	102 団体
平成 20 年 3 月 31 日	113 団体

(3) 協働事業の実践

市とセンターは対等な立場で協議し、パートナーシップを重要視しながら、それぞれの役割を分担し、互いに協力しながら協働して事業を遂行する。

○災害ボランティアネットワークに関する検討

平成 16 年 9 月、台風 21 号により甚大な被害を被った経験を教訓に、「災害に強いまちづくり」をめざし、市民ネットワークの構築、各種事業を検討。平成 17 年 10 月、「伊勢市防災しみんの会幹事会」を設立。主なメンバーは、伊勢志摩 NPO ネットワークの会、いせ市民活動センター、伊勢市社会福祉協議会、伊勢市ボランティア連絡協議会、県防災ボランティアコーディネイター養成協議会、鷺ヶ浜防災クラブ、危機管理課、市民参画交流課。

日 時	内 容
H17. 8. 6	市民講座“防災講演会”開催 (講師：中央防災会議委員・富士常葉大学環境防災学教授 重川希志依教授)
H18. 7. 14	市長への提言書提出及びプレゼンテーション
H18. 8. 10	豊島教育委員会次長へ市長への提言書提出報告及び小中学校の防災訓練などへの参加依頼
H18. 9. 20	今一色小学校地震・津波想定避難訓練に講師を派遣

H18. 10. 6	城田中学校防災学習に講師を派遣
H19. 1. 31	豊浜東小学校防災訓練に講師を派遣
H19. 2. 1	厚生小学校防災訓練に講師を派遣
H19. 4. 25	第 13 回伊勢市防災しみんの会幹事会
H19. 5. 24	第 14 回伊勢市防災しみんの会幹事会
H19. 6. 25	第 15 回伊勢市防災しみんの会幹事会
H19. 7. 26	第 16 回伊勢市防災しみんの会幹事会
H19. 8. 15	第 17 回伊勢市防災しみんの会幹事会
H19. 9. 17	第 18 回伊勢市防災しみんの会幹事会
H19. 10. 25	豊浜中学校防災訓練に講師を派遣
H19. 11. 16	第 19 回伊勢市防災しみんの会幹事会
H19. 12. 12	東大淀小学校防災学習に講師を派遣
H19. 12. 13	第 20 回伊勢市防災しみんの会幹事会
H20. 1. 11	第 21 回伊勢市防災しみんの会幹事会
H20. 2. 4	第 22 回伊勢市防災しみんの会幹事会
H20. 2. 26	第 23 回伊勢市防災しみんの会幹事会

○ボランティア登録システムの構築事業

世情を反映して企業を含む活動団体及び市民の間では、ボランティアに関心が集中している。しかし、それぞれに想いだけが先行しボランティアを必要としている人や団体に反映されていない。そこで市民活動の拠点と位置づけている「いせ市民活動センター」を中心として、ボランティア登録を整備構築し、ボランティアを必要としている人（団体）、ボランティア活動を希望する人のアクセスを図ることを目的とする。

H19. 10. 23	第 1 回検討会
H19. 11. 1	第 2 回検討会
H19. 12. 6	第 3 回検討会
H19. 12. 14	第 4 回検討会
H20. 1. 11	第 5 回検討会
H20. 1. 23	伊勢市社会福祉協議会との打ち合わせ（登録システムの統合について）
H20. 2. 24	ボランティア登録者交流会開催 講師 （社）大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長 早瀬 昇 氏
H20. 3. 1	ボランティア登録 HP 開設

○「大人のこだわり・充実生活をめざして」事業

団塊の世代といわれる人が定年退職を迎える時期にあたり、趣味や旅を楽しみたいという希望もあれば、生活資金や健康は大丈夫だろうかと不安を感じる人もいる。定年退職を迎えた後の 20 年間で老後というにはあまりにも長い年月である。定年後に働く目的は、お金より生き甲斐ややりがいの方に比重が移るといふ集計が出ているが、生計のためでないしかし仕事をしたいという底に流れるチャレンジ精神を発揮する土壌を提供することを目的とする。

H19. 9月～10月	現状把握をするためにアンケートを実施
H20. 2.24	ボランティア入門講演会「大人のこだわり・充実生活をめざして」 講師 (社)大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長 早瀬 昇 氏

○ 活性化活動事業

市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し市民自治の担い手として活動を継続的に続けるために、その経費の一部を補助した。選考は平成19年6月10日に公開プレゼンテーションを実施し、審査員（民間及び学識経験者から5名、県職員1名を委嘱）が審査し決定した（申請団体21、決定団体16）。

補助金の補助率は対象経費の10分の8以内、限度額は10万円までで交付した。

（対象事業）

保健・医療又は福祉の増進、子どもの健全育成、社会教育、まちづくりの推進、学術・文化・スポーツの振興、環境の保全、災害救援、地域安全、人権の擁護又は平和の推進、国際協力、男女共同参画社会の促進、雇用機会の拡充支援、情報化社会の発展等

平成19年度交付団体

団体名	交付額	事業内容
アイリッシュ・ネットワーク・ジャパン三重支部	100,000円	第5回セント・パトリックスデーパレード伊勢
あすなるテニスクラブ	100,000円	高齢者の健康維持活動
いすずウキウキクラブ	100,000円	いすずウキウキクラブ教室
伊勢商工会議所青年部	100,000円	第2回「伊勢っ子ものしり王選手権」
伊勢市シーンボイスサポート会	100,000円	視覚障害者を対象とした「映画の音声ガイド」
伊勢ソフトテニスクラブ	100,000円	ソフトテニスの普及及び技術向上に関する交流会
伊勢伝統みんなよう	100,000円	舞の会（発表会）
NPO朝熊山麓に花を咲かす会	52,000円	春の花づくり
おひなさまめぐり in 二見実行委員会	100,000円	第4回おひなさまめぐり in 二見の広報活動
厚生総合型スポーツクラブ	100,000円	木工教室
青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会	100,000円	「キッズシアター」上映会
たんぽぽ読書会	100,000円	おはなし会のためのスキルアップ講座
特定非営利活動法人NPO伊勢志摩サポート協会	100,000円	年越しカウントダウン豚汁ふるまい事業
特定非営利活動法人芝生の夢倶楽部	100,000円	家族交流イベント「ペルファミ」
ハートマジック倶楽部	48,000円	ハートマジック倶楽部
二見七夕・星まつり実行委員会	100,000円	第3回「二見七夕・星まつり」の町並み装飾
合計	1,500,000円	

○ 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が主体的に取り組む事業に対して、補助した。

補助金の限度額は、対象事業費に対して2/3を乗じた額か、世帯割に応じて積算された額を比較し、いずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

- ① 地域に根ざす伝統文化の継承事業
- ② 地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業
- ③ 地域内の清掃美化等の環境保全事業
- ④ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業
- ⑤ 訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業
- ⑥ 少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業
- ⑦ 住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業
- ⑧ その他市長が特に必要と認める事業

・平成19年度対象自治会 171自治会

- ① 交付申請・決定自治会 118自治会
- ② 交付申請・交付決定額 6,944千円

○ コミュニティ助成事業

(財)自治総合センターが、宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に助成を行うことにより健全育成を図り、宝くじの普及広報を目的とする。コミュニティ組織である自治会に一般コミュニティ事業補助金を交付した。

交付決定自治会 27自治会 (当初分27自治会)

交付決定額 55,100千円

自治会名	補助金額	事業名
朝熊町委員会	2,500,000円	櫓購入
朝熊町自治会	1,700,000円	視聴覚機器購入
五十鈴ヶ丘団地自治会	2,000,000円	屋外放送設備設置
伊勢市徳川山町会	1,300,000円	視聴覚機器購入
伊勢市二俣1丁目町会	1,700,000円	祭り用具購入
一之木町会	2,400,000円	太鼓購入
岡本町会	2,500,000円	太鼓購入
小俣町宮前自治区	1,800,000円	視聴覚機器購入
鹿海町自治会	2,300,000円	視聴覚機器購入
神社港自治会	1,200,000円	自治会活動用品購入
川端町会	2,500,000円	太鼓購入
黒瀬町自治会	2,500,000円	組立式屋外ステージ購入

小木町	2,500,000 円	祭り用具購入
下野町自治区	1,000,000 円	広報用具購入
昭和苑自治会	1,700,000 円	カラオケ設備購入
高向区	2,500,000 円	自治会活動用品購入
常磐仲町町内会	2,500,000 円	神輿購入
土路区町会	2,500,000 円	太鼓購入
西口町会	2,500,000 円	祭り用具購入
西豊浜町上区自治会	2,400,000 円	「憩いの場」設置
野村町会	2,000,000 円	健康推進用備品購入
坂東自治会	2,400,000 円	太鼓購入
東豊浜町西条自治会	1,200,000 円	太鼓購入
藤里団地自治会	2,200,000 円	祭り用具購入
本町町会	1,500,000 円	自治会活動用品購入
前山町自治会	2,000,000 円	広報用具購入
宮町自治連合会	1,800,000 円	祭り用具の購入
合計	55,100,000 円	

○ 地区コミュニティセンター維持管理経費

コミュニティセンター使用状況

豊浜・城田・沼木・神社・北浜・浜郷・宮本・大湊地区コミュニティセンターについては、地域の会合、生涯学習・スポーツ課の出前講座など地域のコミュニティや生涯学習の場として活用されている。

ア 豊浜地区コミュニティセンター（H19.4.1～H20.3.31）

区分 年度	会議室利用状況				図書室利用状況	
	会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
19	件 116	件 4	件 120	人 1,581	人 139	冊 365

イ 城田地区コミュニティセンター（H19.4.1～H20.3.31）

区分 年度	会議室利用状況				図書室利用状況	
	会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
19	件 132	件 22	件 154	人 2,096	人 915	冊 2,171

ウ 沼木地区コミュニティセンター・農村環境改善センター（H19.4.1～H20.3.31）

区分 年度	会議室利用状況					図書室利用状況	
	会議室	生活研修室	営農相談室	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
19	件 33	件 43	件 6	件 82	人 2,339	人 131	冊 252

エ 神社地区コミュニティセンター（みなとディサービスセンターに併設）

（H19. 4. 1～H20. 3. 31）

区分 年度	図書室利用状況	
	貸出人数	貸出冊数
19	人 368	冊 935

オ 北浜地区コミュニティセンター（H19. 4. 1～H20. 3. 31）

区分 年度	会議室利用状況				図書室利用状況	
	会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
19	件 102	件 15	件 117	人 2,122	人 649	冊 1,800

カ 浜郷地区コミュニティセンター（H19. 4. 1～H20. 3. 31）

区分 年度	会議室利用状況				図書室利用状況	
	会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
19	件 183	件 16	件 199	人 4,271	人 117	冊 311

キ 宮本地区コミュニティセンター（H19. 4. 1～H20. 3. 31）

区分 年度	会議室利用状況				図書室利用状況	
	会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
19	件 122	件 187	件 309	人 3,195	人 394	冊 1,075

ク 大湊地区コミュニティセンター（H19. 7. 1～H20. 3. 31）

区分 年度	会議室利用状況				図書室利用状況	
	会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
19	件 28	件 19	件 47	人 978	人 265	冊 704

○ 大湊地区コミュニティセンター新築事業

地域のコミュニティ活動や生涯学習の場として活用でき、地域から要望の強かった津波に対する避難施設としての機能を兼ね備えた大湊地区コミュニティセンターの整備を行った。

（1）委託関係

施行場所	委託業務名	業務概要	金額	着工	完工
大湊町 地内	（注1） 大湊地区コミュニティセンター新築工事監理業務委託	鉄筋コンクリート造 2階建 209.10 m ² 床面積 1階 191.10 m ² 2階 167.60 m ² 延べ面積 358.70 m ²	円 1,179,150	18. 8. 25	（注2） 19. 6. 5

（注1）建築住宅課施行

（注2）平成18年度から繰越

(2) 工事関係

施工場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
大湊町 地内	(注1) 大湊地区コミュニティセン ター新築工事(建築工事)	鉄筋コンクリート造 2階建 358.70㎡	円 93,444,750	18. 8. 25	(注2) 19. 6. 5
大湊町 地内	(注1) 大湊地区コミュニティセン ター新築工事(電気設備工 事)	鉄筋コンクリート造 2階建 358.70㎡ 幹線・動力設備工事 一式 電話設備工事 一式 TV共聴設備工事 一式 インターホン設備工事 一式 火災報知設備工事 一式	8,583,750	18. 8. 25	(注2) 19. 6. 5
大湊町 地内	(注1) 大湊地区コミュニティセン ター新築工事(機械設備工 事)	鉄筋コンクリート造 2階建 358.70㎡ 屋外給水設備工事 一式 屋内給水設備工事 一式 屋外排水設備工事 一式 屋内排水通気設備工事 一式 衛生設備工事 一式 市水道引込工事 一式	9,371,250	18. 8. 25	(注2) 19. 6. 5

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 平成18年度から繰越

○ 四郷地区コミュニティセンター新築事業

四郷地区コミュニティセンターの建設場所については、県道鳥羽松阪線道路改良に伴う道路法線の確定に伴い、平成19年7月27日に開催された総務政策委員協議会及び、7月31日に開催された教育民生委員協議会において報告。四郷小学校の敷地内に小学校施設との複合施設を建設予定。建物の設計を平成19年度中に行い、平成20年度中に建設を予定。

(1) 委託関係

施行場所	委託業務名	業務概要	金額	着工	完工
楠部町 地内	(注1)(注2) 四郷地区コミュニティセン ター等複合施設建築工事に 伴う地質調査業務委託	ボーリング Φ66mm 21.0m 標準貫入試験 21箇所 室内土質試験 一式	円 1,388,100	19. 12. 26	20. 2. 22
楠部町 地内	(注1)(注2) 伊勢市立四郷小学校特別教 室棟改築工事設計業務委託	特別教室棟(改築) RC造2階建 368㎡程度	2,421,487	19. 11. 27	20. 3. 19

(注1) 建築住宅課施行

(注2) 教育総務課と合併施行

○ 地縁団体等関係

地縁による団体(地方自治法第260条の2)

自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

年度	地縁団体 認可団体数
19	1 団体
計	56 団体

○ 地区連絡員事業

市行政における住民との相互連絡等の特定事務を行った。

- (1) 市の広報紙等の配付（月 1 回）
- (2) おしらせ版等の配布（月 1 回）
- (3) その他市長が特に必要と認める職務

平成 19 年 3 月 31 日現在の世帯数で報酬額を算定

最多世帯数 一之木地区 1,332 世帯

最少世帯数 明野第六地区 9 世帯

平均世帯数 301 世帯

（報酬総額 99,408,043 円）

○ 区長謝礼事業

市内 171 自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。

（報償費総額 7,120,000 円）

○ 振興助成金事業

市内 171 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	合計
本庁	50	19,588	2,500,000	6,855,800	9,355,800
支所	70	18,493	3,500,000	6,472,550	9,972,550
二見総合支所管内	10	3,192	500,000	1,117,200	1,617,200
小俣総合支所管内	27	6,970	1,350,000	2,439,500	3,789,500
御菌総合支所管内	14	3,576	700,000	1,251,600	1,951,600
合計	171	51,819	8,550,000	18,136,650	26,686,650

○ 国際交流推進事業

1 防災説明会の開催

災害時の外国人対策の一環として、中国人研修生を対象に危機管理課と共に、防災について説明会を行った。

- ・日時 平成 19 年 10 月 4 日（木）
- ・場所 いせ市民活動センター 2 階
- ・対象 中国人研修生 107 人

2 （財）国際交通安全学会及び三重県外国人技術者・技術習得サポート事業への協力

上記 2 団体の研修の一環として、日本の文化、日本人の日常生活等について理解を深めるためホームステイを実施するにあたり、伊勢市での開催に協力した。

(1) （財）国際交通安全学会（IATSS フォーラム）

- ・日程 平成 19 年 10 月 13 日（土）～10 月 14 日（日） 1 泊 2 日
- ・人数 16 名
（国籍）カンボジア、マレーシア、フィリピン、インドネシア、ラオス、シンガポール、タイ、ベトナム、ミャンマー

(2) 三重県

- ・日程 平成 19 年 11 月 17 日（土）～11 月 18 日（日） 1 泊 2 日
- ・人数 6 名
（国籍）ブラジル、アルゼンチン、中国、パラオ、ブータン

3 伊勢市国際交流協会

国際交流事業を総合的かつ効率的に行うことにより、市民と外国の人々との国際交流及び国際親善を促進及び国際相互理解を増進し、もって文化その他の分野において世界に貢献して世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的とし活動をしている。市は事務局として支援し、市民とともに伊勢市の国際化に関する事業を推進している。

事業は主に、国際理解のための講演会、世界の料理パーティー、在住外国人のための日本語講座、世界の文化に理解を得るためイベント等で、会報誌やパンフレット等で情報提供も行った。

平成 20 年 3 月末会員数 個人会員 142 名、団体会員 11 団体、企業会員 5 企業

4 「三重県市町職員多文化共生のためのワーキング」への参加

三重県及び 8 市のメンバーにより、多文化共生ワーキングが設置され、計 8 回参加した。

その中で、市町役場の窓口において、外国人住民への行政サービスの向上を図るため 4 か国語版の指さし会話集を作成した。

○ 豪州中学生派遣交流事業

1 目的・概要

オーストラリア・ゴールドコースト市で現地家庭でのホームステイ、現地学校での語学研修や交流授業、文化交流等を通して、国際理解を深め、国際的視野と高い市民意識を持った青少年を育成することを目的に中学生を派遣した。

2 対象者・派遣期間等

- ア 対 象： 伊勢市在住の中学3年生
- イ 期 間： 平成19年8月19日(日)～27日(月) 9日間
- ウ 派 遣 先： オーストラリア・ゴールドコースト市
- エ 派遣者数： 13名

3 選考審査、事前・事後研修

- ア 選 考 審 査 内 容： 作文・面接・英語筆記・リスニング試験
- イ 事 前 ・ 事 後 研 修： 事前研修：英会話、オーストラリア及び伊勢市についての学習、
ホームステイのマナー、ソーラン踊りの練習等
： 事後研修：市長報告会、感想文、写真、日誌等の提出

4 市負担分等

派遣に要する費用の約3分の1を助成し、本人負担の軽減を図った。

- ・ 総費用(1人あたり) 334,000円
- ・ 市助成額(1人あたり) 122,000円
- ・ 個人負担金額(1人あたり) 212,000円

地域内分権推進課

○ 地域内分権推進事業

新市建設計画に掲げられている「地域内分権の仕組みづくり」について調査研究し、基本的な考え方や方向性を「ふるさと未来づくり推進計画」（案）としてまとめた。

またその内容を市民に周知するとともに、意見交換を行い、取組みに対する理解促進を図った。

さらに市民の自治意識の啓発、職員の意識改革を図るための研修会、講演会を開催した。

1 ふるさと未来づくり推進計画（案）の策定

地方自治の基本的な考え方である「補完性の原理」をもとに、団体自治と住民自治を明確化し、地域課題への対応や地域独自のまちづくりを可能にする地域自治組織の設立、財源の確保など、本市が目指す新たな地域自治の仕組みを定めたもので、平成20年2月1日の総務政策委員協議会に報告した。

2 広報活動

広報いせ2月号、ケーブルテレビ2月特集号で「ふるさと未来づくり」の概要を伝え、広報いせ3月号と同時に啓発用パンフレットを各戸回覧した。

また、要請のあった自治会、老人クラブ等に説明に出向いた。

3 研修会、講演会の開催

（1）地域自治による新たなまちづくり合同研修

地域自治による新たなまちづくりについて、議会と行政の双方が理解を深め、共通認識のもとで議論ができるよう合同研修を開催した。

開催日 平成19年8月9日（木）

開催場所 いせ市民活動センター 北館多目的ホール

講師 四日市大学総合政策学部 岩崎恭典 教授

参加者 議員並びに市長、副市長、部長級職員及び関係課長等 81人

（2）地域内分権に関する職員研修

地域内分権の取組みを推進するに当たり、職員の理解と共通認識が不可欠であることから、地域内分権に関する職員研修を実施した。

開催日 平成20年1月28日（月）、2月7日（木）

開催場所 いせ市民活動センター 北館多目的ホール

- 内 容 ①伊勢市が目指す地域内分権の仕組み
地域内分権推進課
②分権時代における新たなまちづくり
三重県政策部企画室 辻上浩司 主査
- 参加者 全職員（技能労務職、医療職、消防署、保育所、幼稚園勤務を除く。）

（３）地域内分権に関する講演会の開催

地域内分権を推進するに当たり地域住民等の理解と協力を得るため、地域で活動する自治会などの各種団体の代表者を対象に地域内分権に関する講演会を開催した。

- 開催日 平成20年2月8日（金）
開催場所 ハートプラザみその 多目的ホール
- 内 容 ①ふるさと未来づくりに向けて～自治を大きくすることと小さくすること～
四日市大学総合政策学部 岩崎恭典 教授
②住民主体のまちづくりの取組み事例の紹介
松阪市朝見まちづくり協議会代表
- 参加者 約300人

4 「ふるさと未来づくり～市長との意見交換会～」の開催

市内の全小学校区において、地域住民を対象に「ふるさと未来づくり」の考え方について説明するとともに、意見交換会を開催した。

- 開催日 平成20年2月19日（火）～3月31日（月）のうちの19日
開催場所 地区コミュニティセンター、小学校など24箇所
- 内 容 ①地域内分権が必要な背景等
②伊勢市が目指す新しい地域自治制度（案）の説明
③質疑応答等意見交換
- 参加者 872人（延べ人数）

○ 伊勢市総連合自治会事務

伊勢市総連合自治会は、各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親睦と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動しており、その事業活動を支援するため補助金を交付した。

（補助金 1,430,000円）

戸 籍 住 民 課

○ 届出係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数及び人口

区 分		平成 20 年 3 月末
世 帯 数		51,837 世帯
人 口	男	63,715 人
	女	70,405 人
	計	134,120 人

(注) 伊勢市総数

(2) 住民異動状況

区 分		件 数
届 出	転 入	3,425 件
	転 出	3,718
	転 居	4,381
	世 帯 変 更	2,524
	そ の 他	34
職 権	出 生	1,116
	死 亡	1,304
	職 権 消 除	6
	修 正	5,354
計		21,862

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍及び本籍人口 (平成 20 年 3 月 31 日現在)

戸 籍 数	62,504 戸籍
本 籍 人 口	156,559 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届出	他市町村からの送付	計
出生	922 件	460 件	1,382 件
婚姻	555	968	1,523
離婚	210	152	362
死亡・失踪	1,128	298	1,426
養子縁組	78	46	124
養子離縁	25	7	32
国籍の得喪・留保	10	14	24
本籍表示の変更	292	290	582
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	269	147	416
上記以外で身分に変更が生じるもの	20	13	33
訂正・追完	115	1	116
不受理申出	59	26	85
その他	1	4	5
計	3,684	2,426	6,110

(3) 戸籍事務処理状況

区分	件数
新戸籍編製	951 件
戸籍全部消除	938
通知違反	16
その他	15
計	1,920

(4) 人口動態調査票作成状況

区分	男	女	不詳	計
出生	603 件	633 件	1 件	1,236 件
死亡	654	669	1	1,324
死産	13	7	9	29
婚姻				695
離婚				256
計				3,540

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき、保健所へ提出
伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,329 件

(注) 相続税法（昭和 25 年法律第 73 号）第 58 条に基づき、税務署へ通知
伊勢市総数

(6) 死産届出受理状況

男	女	不詳	計
13 件	7 件	9 件	29 件

(注) 伊勢市総数

(7) 埋葬・火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋 葬	1 件	0 件	2 件	3 件
火 葬	992	4	20	1,016
計	993	4	22	1,019

(8) 民刑事事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	393 件
民事関係通知	40
身元事項照会	3,163
計	3,596

(注) 伊勢市総数

3 支所関係

(1) 戸籍関係手数料調定事務等

各支所との連絡調整のほか、支所で取り扱う戸籍関係手数料の調定を行った。

区 分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸籍手数料	(1,147件) 639,450円	(851件) 472,050円	(979件) 524,450円	(484件) 252,700円	(1,013件) 557,550円
住民基本台帳 関係手数料	(1,806) 361,200	(1,073) 214,600	(2,164) 432,800	(904) 180,800	(1,426) 285,200
印鑑証明手数料	(1,686) 337,200	(1,093) 218,600	(2,230) 446,000	(1,041) 208,200	(1,715) 343,000
諸証明手数料	(24) 4,800	(11) 2,200	(23) 4,600	(8) 1,600	(27) 5,400
外国人登録関係 証明	(1) 200	(0) 0	(8) 1,600	(2) 400	(2) 400
計	(4,664) 1,342,850	(3,028) 907,450	(5,404) 1,409,450	(2,439) 643,700	(4,183) 1,191,550

区 分	北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	計
戸籍手数料	(1,132件) 623,000円	(869件) 472,050円	(865件) 473,750円	(279件) 143,850円	(7,619件) 4,158,850円
住民基本台帳 関係手数料	(1,621) 324,200	(1,683) 336,600	(1,056) 211,200	(505) 101,000	(12,238) 2,447,600
印鑑証明手数料	(1,849) 369,800	(1,596) 319,200	(1,365) 273,000	(563) 112,600	(13,138) 2,627,600
諸証明手数料	(29) 5,800	(60) 12,000	(24) 4,800	(14) 2,800	(220) 44,000
外国人登録関係 証明	(0) 0	(3) 600	(4) 800	(0) 0	(20) 4,000
計	(4,631) 1,322,800	(4,211) 1,140,450	(3,314) 963,550	(1,361) 360,250	(33,235) 9,282,050

4 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定し、それぞれの申請者へ通知した。

年 度	住 居	事 務 所	事業所等	合 計
19	98 件	4 件	8 件	110 件

○ 証明係

1 住民関係

(1) 住民票の写し交付等の状況

区 分	有 料	無 料	計	収 入 金 額	
住民票の写し	46,849 件 (3,573)	3,561 件	50,410 件 (3,573)	9,369,800 円	
広域交付住民票の写し	49	0	49	9,800	
戸籍の附票の写し	2,666	2,411	5,077	533,200	
住民票記載事項証明	1,324	64	1,388	264,800	
住民基本台帳カード	2,087	43	2,130	1,043,500	
住民基本台帳閲覧ほか	249	9	258	49,800	
印 鑑 登 録 証 明	41,652 (8,396)	220	41,872 (8,396)	8,330,400	
諸 証 明	身 分 証 明	1,016	2	1,018	203,200
	そ の 他	121	65	186	24,200
外国人登録関係証明	741 (46)	270	1,011 (46)	148,200	
計	96,754 (12,015)	6,645	103,399 (12,015)	19,976,900	

(注1) () は自動交付機による内数。 (注2) 9支所含む。

(2) 印鑑登録数（平成 20 年 3 月 31 日現在）

88,372 件

（注）伊勢市総数

(3) 印鑑登録事務処理状況

区 分		件 数
増	登 録	5,276 件
	そ の 他	35
	計	5,311
減	廃 止	1,133
	亡 失	1,171
	死 亡	984
	転 出	1,478
	そ の 他	272
	計	5,038

（注）伊勢市総数

(4) 住居表示関係証明件数 57 件

(5) 電子証明書 の 状況

有 料	無 料	計	金 額
1,034 件	4 件	1,038 件	517,000 円

2 戸籍関係

(1) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分		件 数			収 入 金 額
		有 料	無 料	計	
全部事項 証 明 (謄 本)	戸 籍	15,592 件	2,644 件	18,236 件	7,016,400 円
	除 籍	12,436	2,118	14,554	9,327,000
	計	28,028	4,762	32,790	16,343,400
個人事項 証 明 (抄 本)	戸 籍	6,089	244	6,333	2,740,050
	除 籍	109	24	133	81,750
	計	6,198	268	6,466	2,821,800
一部事項 証 明	戸 籍	10	76	86	4,500
	除 籍	0	0	0	0
	計	10	76	86	4,500

記載事項 証明	戸籍	2件	0件	2件	700円
	除籍	0	0	0	0
	計	2	0	2	700
受理証明等		(6) 148	2	(6) 150	(8,400) 58,100
届書記載事項 証明		399	15	414	139,650
閲覧		0	0	0	0
計		(6) 34,785	5,123	(6) 39,908	(8,400) 19,368,150

(注1) () は、上質紙使用の内数。

(注2) 9支所含む。

3 外国人登録関係

(1) 外国人登録事務状況

(平成19年1月1日～平成19年12月31日)

種 別			件 数	種 別			件 数	
新登 規 録	入 国		305件	閉 鎖	出 国		255件	
	出 生		3		死 亡		6	
	日本国籍離脱		0		国 籍 取 得		7	
	そ の 他		0		そ の 他		0	
引 換 交 付	法 第 6 条		0	無 効	全 部 無 効		0	
	法第6条の2		22		一 部 無 効		1	
再 交 付			9	署 名	新規登録(入国)		221	
確 認 (切 替 え)	法第11条第1項		175		引 替 交 付		21	
	法第11条第2項		6		再 交 付		9	
交 付 予 定 期 間 指 定			504		変 更 登 録		22	
交 付 予 定 期 間 変 更 指 定			4		確 認	法第11条第1項	175	
居 住 地 変 更 登 録	変更登録申請		353			法第11条第2項		6
居 住 地 変 更 登 録	原票送付申請		234		家 族 事 項 登 録			108
	原 票 送 付		304		法 違 反	告 発		0
職 権 変 更 登 録			0			通 知		0
居 住 地 以 外 の 変 更 登 録	法第9条第1項		1,274		地 方 入 管 局 へ の 通 報			0
	法第9条第2項		297	原 票 関 係	原 票 の 書 換		0	
登 録 の 訂 正	市限りの訂正		16		原票の開示(照会回答)		258	
	照会による訂正		0	計			4,595	

(注) 法とは、外国人登録法をいう。

伊勢市総数。ただし、原票の開示のみ旧伊勢市分

(2) 外国人登録者国籍別在籍人員 (平成 20 年 3 月 31 日現在)

国籍別	人員	在籍人員
中 国		555 人
ブ ラ ジ ル		340
韓 国 ・ 朝 鮮		220
フ ィ リ ピ ン		112
タ イ		31
米 国		31
ネ パ ー ル		19
ペ ル ー		14
イ ン ド ネ シ ア		11
イ ン ド		6
そ の 他		48
計		1,387

(注) 伊勢市総数

(3) 郵送請求(戸籍・住民・外国人登録)処理件数 27,762 件

4 自衛官募集事務

自衛隊三重地方連絡部伊勢募集事務所長から依頼を受け、懸垂幕や広報いせを通じ、新規隊員の募集などの事務補助を行った。

なお、市内から 21 人の入隊者があった。

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるための総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に平成14年7月11日に設立した、関係官庁や市民団体等の代表33名で構成する「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
19. 6. 13	総会及び研修会	平成18年度事業実績、収支決算の審議 平成19年度事業計画、収支予算の審議 研修会「仲間と共に部落問題に取り組んで」 講師 白山町反差別連帯会議 酒井 巧	
7. 13	第1回幹事会	第1回理事会への提出案件協議	
7. 25	第1回理事会	人権尊重啓発ポスター募集事業について 人権セミナーについて 人権講演会について	
8. 1 ～12. 20	人権尊重啓発ポスター募集事業	市内小中学校児童生徒から473点の応募 秀作9点、入選100点 12. 9 生涯学習センターいせトピアにおいて 表彰、展示 12. 11～20まで市立伊勢図書館において展示	広報いせ8.1号にて公募
9. 26	第1回人権セミナー	「刑を終えた人の人権」 講師 作家・元衆議院議員 山本譲司	参加者43名
10. 10	第2回幹事会	第2回理事会への提出案件協議	
10. 19	第2回理事会	街頭啓発の取組みについて	

11. 30	第2回 人権セミナー	「犯罪被害者の人権」 講師 犯罪被害者自助グループ 青木聰子 三重県警察本部 増田正人	参加者38名
11. 29 ~12. 10	人権パネル展	市役所1階ロビーにて人権パネル展を開催 生涯学習センターいせトピア及び市役所において懸垂幕を掲出	
12. 7	街頭啓発	12. 4~10の人権週間に合わせ、市民の人権尊重の意識高揚を目的に、市内ショッピングセンター等にて協議会委員による啓発物品配布等の啓発活動を実施	参加者29名 配布数1200個
12. 9	人権講演会	ひとり芝居「地面の底がぬけたんです」 講師 女優 結 純子	参加者228名
20. 1. 31	第3回 人権セミナー	「子どもの人権」 講師 CAP 終 奥田紘子	参加者35名
2. 19	第3回幹事会	第3回理事会への提出案件協議	
2. 22	第4回 人権セミナー	「同和問題」 講師 五十鈴中学校 校長 宮崎吉博	参加者33名
2. 26	第3回理事会	平成19年度事業報告及び収支決算見込 平成20年度事業計画（案）及び収支予算（案）	
随時	人権啓発冊子等 発行	人権ハンドブックNO. 6・NO. 7 各1,000部	

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 事 業	内 容	備 考
広報いせ人権シリーズ掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、同和問題をはじめ様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民の方々に人権について考えていただく機会とした。	毎号掲載
地域人権啓発紙の編集	市民館、教育集会所が中心となって作成する地域人権啓発紙への記事提供及び編集。広報いせ人権シリーズ同様、様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民の方々に人権について考えていただく機会とした。	地域人権啓発紙 3紙 毎月発行
人権週間啓発チラシ等の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発チラシを作成し、人権尊重宣言都市啓発用ボールペンと合わせて、街頭啓発、関係機関窓口等で配布した。	チラシA5変形版 3,500枚 人権尊重宣言都市周知用ボールペン 3,500本
人権啓発冊子等の作成	市民の人権意識の高揚と世界人権宣言60周年を周知するための小冊子を作成した。	A5版 1,000部

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行っているが、平成19年度については、特筆する事例はなかった。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や教養文化活動等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財 源 内 訳	
			県補助金	市 費
隣 保 館 運 営 事 業 費	38,805,530	36,952,601円	27,151,000円	11,654,530円

(注) 正規職員 1人 給与等 8,050,726円を含む。

2 事業内容

事業区分		館 別		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員		
相 談 事 業	人 権 相 談	9	9	1	1	0	0	10	10		
	職 業 相 談	43	82	57	57	4	4	104	143		
	教 育 相 談	9	9	1	1	1	1	11	11		
	福 祉 相 談	34	37	0	0	0	0	34	37		
	生 活 相 談	32	44	14	16	12	12	58	72		
	健 康 相 談	0	0	4	5	0	0	4	5		
	そ の 他 相 談	15	15	112	112	34	37	161	164		
各 種 講 座	生 花 講 座	19	106	—	—	—	—	19	106		
	パッチワーク	20	55	—	—	24	102	44	157		
	習 字 講 座	—	—	36	400	48	241	84	641		
	英 語 講 座	—	—	41	502	—	—	41	502		
	民 謡 講 座	—	—	—	—	24	142	24	142		
	手 芸 講 座	—	—	—	—	24	77	24	77		

○ 非核・平和推進関係

1 非核・平和第29回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、平成18年8月11日・12日に、生涯学習センターいせトピアにおいて、非核・平和第29回空襲展実行委員会と共催し、伊勢市空襲を記録する会の協力を得て空襲展を開催した。

当課の企画として、伊勢市にも戦争の惨禍があったことを再認識する企画として「いせ市の戦跡めぐり」を実施した。

主な催し物・・・講演会、映画・ビデオ視聴コーナー、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、焼夷弾、軍用品、戦時中の生活用品など

2 原爆被災写真展

非核・平和第29回空襲展を前に、原爆被爆の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴えるパネル展を8月2日から8月10日まで、市役所1階ロビーにて開催した。

3 非核平和都市宣言周知ミニパンフの配布

市民に宣言の周知と、平和の尊さを共有していく意義を感じてもらうため、ミニパンフを配布、また、ポスターを掲示した。

パンフ作成枚数 : 3,000部 空襲展等で配布

4 非核平和都市宣言折り鶴

学校教育課を通じて市内各中学校の生徒代表による広島平和祈念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。(12校×1,000枚)

また、市役所ロビーにおける原爆被災写真展、第29回非核・平和空襲展の折り鶴コーナーでも利用した。

5 日本非核宣言自治体協議会

市町村合併に伴い脱会扱いとなっていた日本非核平和宣言自治体協議会に、平成18年、新市としての非核平和都市宣言採択に伴い再加盟した。非人道的核兵器の使用は人類と地球の破滅につながる恐れがあり、住民の生命と生活を守ることは自治体の責務であるとの考えから、本会の非核平和都市を宣言した全国の自治体間の協力体制確立と、全国・全世界に核兵器廃絶、恒久平和を呼びかけ、平和の尊さを訴えるという趣旨に賛同して加盟したもので、協議会は核実験を行う諸国への抗議行動や地雷廃絶キャンペーンを行うなど、幅広い活動を展開している。

(非核宣言自治体数 1,446自治体 うち協議会会員自治体数 237自治体：平成20年4月現在)

合 併 調 整 室

1 調整合体制

室長・係 2 名の 3 名で合併後の諸問題の調整を行った。

2 伊勢市総合支所連絡会議

各総合支所相互及び本庁との連絡調整を行い、市行財政の適正かつ効率的な遂行を図るため「伊勢市総合支所連絡会議」を設置している。構成員は副市長を座長とし、総合支所長、合併調整室長、財務政策部長、総務部長及びあらかじめ市長が指名したもので組織し、平成 19 年度に開催した各会議の案件は下記のとおりであった。

開 催 日	案 件
19. 4. 19	<p>第 21 回総合支所連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 次庁舎等有効利用検討プロジェクトの今後の進め方について ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市総合計画に対する答申の取扱いについて ・地域審議会からの意見の具申の取扱いについて ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・防災無線の運用状況の格差是正に向けて
19. 5. 22	<p>第 22 回総合支所連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○付議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・敬老金支給に伴う除外規定の削除について ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 次庁舎等有効利用検討プロジェクトの検討結果について ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①庁舎等有効利用に伴う懸案事項について <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道部の移転について ・産業建設課の統合について ・産業部（農業委員会を含む）の移転について ・御菌総合支所の 2 階・3 階の活用について ・職員駐車場の取扱いについて ・議会・組合等への報告について ②伊勢市総合計画に対する答申の取扱いについて ③地域審議会からの意見の具申の取扱いについて ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・主な格差是正の照会について ・記念碑の統一見解について

19. 7. 6	<p>第 23 回総合支所連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○付議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市小俣町若山墓地の管理手数料の徴収について ・自治体に貸し付けている市有地の取扱いについて ・総合支所管内の自治会要望の取りまとめについて ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市総合計画に対する答申結果について ・小俣地区地域審議会からの意見具申の結果について ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎等有効利用の検討結果について ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・慣行の取扱いについて
19. 8. 16	<p>第 24 回総合支所連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①庁舎等施設の有効利用について <ul style="list-style-type: none"> ・各委員協議会への報告結果について ・今後の対応について <ul style="list-style-type: none"> 産業部（商工労政課）の移転について 市史編さん係の早修幼稚園への移転について 産業建設課の統合について 9月補正について ・本庁舎の有効利用の検討について ②小俣地区地域審議会からの意見具申について
19. 10. 11	<p>第 25 回総合支所連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○付議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・指定ごみ袋の材質の変更及びペットボトル回収用袋（御菌町）の廃止について ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第 7 回庁舎等有効利用検討プロジェクトの結果について ・小俣地区地域審議会との懇談会について ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎等施設の有効利用について <ul style="list-style-type: none"> 産業部の移転について 産業建設課の統合について 移転に伴う工事等の予定について 本庁の有効利用について（ワンフロアサービス等） 総合支所の防災体制の確立について
19. 12. 6	<p>第 26 回総合支所連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○付議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉部関係 市単独扶助費の見直し 13 項目 ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・その後の経過について ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎等施設の有効利用について <ul style="list-style-type: none"> 産業建設課の統合について 本庁の配置計画（案）について

20. 2. 6	<p>第 27 回総合支所連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎の有効利用その後の経過について ・付議事項の変更について ・地域審議会の審議状況 ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・レセプト点検室の移転場所について（医療保険課主幹から補足説明） ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集・処理関係の調整について依頼があったことを報告
----------	---

3 庁舎等有効利用検討プロジェクト

本庁及び総合支所等施設の効率的かつ適正な利用に関して調査研究するため第 2 次庁舎等有効利用検討プロジェクトを設置し、施設の有効利用に関して調査・検討をしている。

開 催 日	案 件
19. 4. 27	<p>第 3 回第 2 次庁舎等有効利用検討プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの検討経過について ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の方針について ○その他
19. 5. 15	<p>第 4 回第 2 次庁舎等有効利用検討プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現地視察（二見総合支所、御菌総合支所） ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・二見総合支所・御菌総合支所を視察した結果について ・今後の進め方について ・設置要綱の改正について ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・職員駐車場の統一見解について
19. 6. 28	<p>第 5 回第 2 次庁舎等有効利用検討プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道部の二見総合支所への移転について ・産業部の御菌総合支所への移転について ・今後の方針について ○その他（教育委員会事務局内で協議が必要な事項） <ul style="list-style-type: none"> ・総合支所連絡会議への報告について
19. 7. 3	<p>第 6 回第 2 次庁舎等有効利用検討プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道部の二見総合支所への移転について ・産業部の御菌総合支所への移転について ・産業建設課の統合について ・今後の方針について

19. 8. 29	<p>第7回第2次庁舎等有効利用検討プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・その後の経過について ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①移転・統合に対する今後の対応について <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道部の二見総合支所への移転について ・市史編さん係の早修幼稚園への移転について ・伊勢志摩観光コンベンション機構の二見総合学習センターへの移転について ・産業部の御菌総合支所への移転について ・産業建設課の統合について ・スケジュール（案）について ・移転に伴う経費について ②本庁舎の有効利用の検討について
19. 11. 20	<p>第8回第2次庁舎等有効利用検討プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎の配置計画案について
19. 12. 4	<p>第9回第2次庁舎等有効利用検討プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・その後の経過について ・産業部の移転に伴う商工労政課の取扱いについて ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・移転・統合に対する今後の対応について <ul style="list-style-type: none"> 移転(上下水道部・産業部・市史編さん係)に関する今後の進め方について 産業建設課の統合について
19. 12. 11	<p>伊勢志摩観光コンベンション機構移転 二見総合支所 → 二見生涯学習センター</p>
19. 12. 17	<p>市史編さん係移転 二見総合支所 → 早修幼稚園</p>
20. 3. 20～ 23	<p>上下水道部移転 本庁舎 → 二見総合支所</p> <p>産業部移転 本庁舎 → 御菌総合支所</p>

4 地域審議会

市町村の合併の特例に関する法律及びこれに基づく合併前の旧4市町村の協議に基づき設置した地域審議会のうち、正副会長会議を次のとおり開催した。

開催日	議 事
19. 6. 12	第1回地域審議会正副会長会議 ○答申（伊勢市総合計画基本構想に対する意見） ・各市域審議会より市長諮問への答申について ○協議事項 ・今後の各地域審議会の運営について
20. 3. 17	第2回地域審議会正副会長会議 ○協議事項 ・地域内分権の推進について ・地域審議会の今後のあり方について

○ 庁舎等整備事業

総合支所本来の設置目的である「地域振興」や「総合的な住民サービス提供機能」を有する施設であることを基本としつつ、各総合支所の空きスペースを有効活用するため、また本庁機能を確保し、効果的・効率的な配置とするために、一部部門の移転及び庁舎等の改修工事を行った。

1 施設の工事並びに補修及び修繕

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金 額	着 工	完 工
常磐3丁目 地 内	(注) 早修幼稚園改修 工事	建築工事 1式 給排水衛生設備工事 1式 空調設備工事 1式 電気設備工事 1式	円 3,410,400	19.11. 6	19.12. 5
二見町茶屋 地 内	伊勢志摩観光コ ンベンション機 構電話設備移転 工事	電話交換機工事 1式 ビジネスホン工事 1式 FAX・ADSL工事 1式	159,022	19.12. 4	19.12.12
〃	(注) 二見総合支所改 修工事	仮設工事 1式 事務室改修工事 1式 便所改修工事 1式 電気設備工事 1式	10,649,100	19.12.21	20. 3.11
御菌町長屋 地 内	御菌総合支所改 修工事	フリーアクセスフロアー 設置 1式	504,000	20. 1.29	20. 2.18

(注) 建築住宅課施行

(2) 補修及び修繕

月	工 事 名	金 額 (円)
3	モニターテレビ移設に係る配管工事	94,500
3	二見総合支所2階便所窓サッシ改修工事	36,750
3	二見総合支所サーバ室エアコン設置工事	99,508
3	御菌総合支所案内パネル文字変更	29,400